愛知県大府市産業界

PR

名古屋市の南、知多半島の北端に位置する愛知県大府市は、自動車関連産業などの製造業が集積するモノづくりのまち。農畜産業も盛んなほか、近年では健康・長寿産業に力を入れており、自動車関連産業に次ぐ基幹産業に育てようと意気込んでいる。

「ウェルネスバレーブランド」認定開始

「夢の腰サポーター」ほか3点認定

愛知県大府市は、健康、医療、介護関連の施設が集積する「あいち健康の森」とその周辺一帯を「ウェルネスバレー」と名付け、健康長寿の一大拠点を築く「ウェルネスバレー構想」を掲げている。

同構想に基づきさまざまな取り組みを展開する中、新たにウェルネスバレー推進協議会がブランド認定事業を開始した。同事業は健康長寿関連の商品またはサービスで、ウェルネスバレー関係機関が開発・改良に関わったものを「ウェルネスバレーブランド」として認定する。ブランド化により商品の販売を促進し、ウェルネスバレー構想とその理念を広く発信する狙いだ。

2017年2月14日に初の認定を実施し、「夢の腰サポーター」、「おおぶ健康美食レストランメニュー」、「ロードバイク用バイクスタンド」の3件をウェルネスバレーブランドとした。

夢の腰サポーターは、同市の吉見製作所が開発した。側面に挿入された形状記憶合金の支柱が曲がると、元の形状に戻ろうとするバネ効果を発揮し、屈曲時の腰の負担を軽減する。愛厚ホーム大府苑（大府市）で実証し、その結果を製品化に役立てた。

同市共和駅周辺の飲食店が集まって作った協力グループ「えみのわ」が開発したのが、おおぶ健康美食レストランメニュー。至学館大学から栄養成分計算や分析、栄養バランス指導協力を得て、エネルギーを500キロカロリー台に抑えながらも満腹感が得られ、栄養バランスも取れるメニューを作りだした。

前輪をはめ込むだけで簡単に駐車できるロードバイク用バイクスタンドは、同市だけで9カ所、知多半島全域では全57カ所に設置されている。設置場所は宿泊施設や飲食店、土産物屋など。同製品を企画開発した知多半島ナビ（知多市）は、サイクリングやロゲイニングなどを通して地域活性化を促している。

形状記憶合金が屈曲時の負担をサポート

高齢者の生活支援にロボット

健康長寿支援ロボットセンター

最先端の医療、介護を実践するウェルネスバレー関係機関は、医療・福祉機器やロボットなどの実証実験を積極的に行っている。

中でも国立長寿医療研究センター（大府市）内の「健康長寿支援ロボットセンター」は、介護や高齢者の生活支援に役立つロボットの実証の場を設け、その開発・導入を促進している。リハビリテーションでロボットを使用する実証をはじめ、見守りロボットやコミュニケーションロボットなど、21に上る実証案件を進行中。リハビリスタッフ82人の手厚い体制で、現場の業務と実証との両立を図っている。

（次ページへ続く）

東海興業株式会社
大府工場（本社）／〒474-8688 愛知県大府市長根町四丁目1番地 TEL（0562）44−1500（代表）
工場／衣浦・下条・高浜、アメリカ・タイ・中国・インドネシア・ベトナム・インド・メキシコ